

平成 20 年度 森林総合研究所北海道支所 研究評議会議報告

開催場所：森林総合研究所北海道支所 大会議室

開催日時：平成 21 年 3 月 4 日（水）14：00～16：30

評議会委員：安樂 勝彦 委員（北海道森林管理局計画部長）

笹 賀一郎 委員（北大北方生物圏フィールド科学センター長）

深沢 博 委員（朝日新聞旭川支局長）

北海道支所 出席者：支所長、研究調整監、地域研究監、研究グループ長（5）

研究チーム長（5）、庶務課長、課長補佐、連絡調整室長

北海道育種場出席者：場長、育種課長、遺伝資源管理課長、育種研究室長

開会の挨拶に続き北海道支所から昨年の指摘事項と対応方針について、本年度から北海道育種場が参加することになった旨を説明した。引き続き平成 20 年度の北海道支所の主な活動報告として 1) 研究組織運営・予算の状況 2) 支所の研究課題推進状況 3) 支所の広報活動について説明を行った。また業務運営については業績評価結果と処遇への反映予定について説明した。主要研究取組状況報告では高度化事業のカラマツ資源についての研究の取り組み状況を地域研究監が説明した。この後、北海道育種場からの平成 20 年度の予算についての報告および林木育種事業と研究の概要についての説明が行われた。この説明のあと評議会委員から以下のような指摘事項が出された。

指摘事項 1

一般公開アンケート参加動機や参加よかったかどうか等工夫してみてはどうか。また北海道育種場に対しては研究期間が長いのでは。エゾシカ対策をしてほしい。

指摘事項 2

広報で一般の人対象だけでなく N P O をもっと利用するとよいのでは、基礎研究も大事だが、一般にもっとアピールしてほしい。